

産業建設常任委員会

委員長 宮内 英明

「高島市安曇川駅周辺活性化検討委員会設置条例案」ほか8件を審査

当委員会は、9月定例会初日の9月9日に、新たに制定する「高島市安曇川駅周辺活性化検討委員会設置条例案」1件、および条例の一部を改正する「高島市ふるさと水と土ふれあい施設の設置および管理に関する条例案」他7件、計9件の審査を付託され、9月12日に委員7名全員出席のもと、その審査を行いました。

まず、「高島市安曇川駅周辺活性化検討委員会設置条例案」は、空洞化が進むJR安曇川駅周辺の総合的な活性化策について検討するための委員会設置条例であり、その所管事務や組織等の必要な事項を定めたものです。委員からは、委員選任において、慎重かつ厳選に取り扱うようこの

要望が多く出されました。次に、「高島市ふるさと水と土ふれあい施設の設置および管理に関する条例案」他7件は、いずれも指定管理施設に関わるものであり、現行の運営形態に合わせた使用料の徴収等に関する事項を規定することや、施設の利用状況等を踏まえ、開館日や開閉時間等を見直すとともに、条文構成において、他の指定管理者制度を導入している条例

と整合を図り、円滑に運用するため、標準的な内容に統一するものです。全9議案について、担当部局から提案理由の説明および資料提供を受け、質疑を重ね慎重に審査した結果、「全員賛成」で、原案のとおり「可決すべきもの」と決定しました。



安曇川駅前 平和堂跡地

防災対策特別委員会研修報告

委員長 前川 勉

「管外視察研修について」

当委員会では、8月26日・27日の2日間、地震や水害などの災害に備え、安全で安心して生活できるよう、大阪市と神戸市へ「自主防災組織づくり」および「地域防災リーダーづくり」の取り組みについて、視察を高めるため、管外視察研修を行いました。

大阪市・神戸市に共通することは、阪神・淡路大震災での住民による自主的な地域防災活動の重要性を再認識されたことでした。行政が出来ることには限界があり、「自分たちのまちは、自分たちで守る」ということを基本理念とし、「隣の人の顔が見える組織づくりが大切」という観点から、地域コミュニティの輪を広げるなど自主防災組織の強化、さらに組織を支える地域防災リ

ダーの育成・組織化に努めているとのことでした。なお、今後の課題として、両市とも防災リーダーの高齢化が深刻であるとのことでした。今回の視察研修で得たことを参考に、高島市での「自主防災組織づくり」や「地域防災リーダーづくり」の一助になるよう、委員会活動を行ってまいります。



大阪市役所で説明を受ける

高島新改クラブ

交通インフラ等の整備について



議員 豊 万木

道路、JR、拠点港について、整備状況を問う。

道路整備について

問 国道161号・303号・367号の整備状況は。また、予算確保の経過(推移)は。

答 市長

順次、用地取得や道路改良工事を進めています。予算確保については、161号小松幅が4億5千万円、高島バイパスが5億6千100万円、湖北バイパスが2億円、303号が1億9千400万円、367号が1億6千700万円となっています。

JR湖西線について

問 新旭駅・マキノ駅のバリアフリー化の進捗状況は。

答

新旭駅については、5月にJR西日本京都支社長に要望し、6月に

JR湖西線について

は京都支社および近畿統括本部と事業化に向けての対策や取り組みについて、協議を行いました。マキノ駅についても、関係機関と協議を重ね、実現に向けて取り組みます。

拠点港の整備について

問 県管理の港は湖西地域には無い。この現状をどう考えるか。

答

災害時の避難や緊急物資輸送のためにも湖上交通拠点は必要と考え、県に要望しています。

増便(特に最終便と近江舞子止まりを今津までは)

問

近江舞子駅以北の利用者状況等から厳しい状況にありますが、10月頃に改めて要望活動を予定しています。

前回と今回の比較状況は。

問

昨年度とほぼ同様の結果でした。

市教育委員会や各学校では、調査結果をどう考えるか。

問

昨年までの結果を分析し、学力向上アクションプランを改善して指導してきました。さらに対策を強化します。

全国の結果と市の結果から見えてきた課題は。

問

言語力や記述式問題の正答率に課題が見られました。基礎・基本の学習に終わらず、活用力を高める授業の質的改善が必要と。

開催が予定されている滋賀国体に向けて、市の方針は。

問

県内他市町の動向も踏まえながら、対応していきます。

全国学力・学習状況調査結果について

問

市として結果を公表する考えは。

答

文部科学省は、序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮し、公表は行っていません。よって市も公表はしません。

学力向上アクションプランの経過および結果は。

問

学習に臨む態度が改善され、家庭学習の習慣が定着しつつあります。学年や学期ごとにアクションプランを評価

その他の質問

JR湖西線の防風対策について

◆駅前整備および活性化について

◆市内の県道および一級河川の整備について



バリアフリー化の協議が進む新旭駅